

# 北見市における景気動向調査報告書

< 第 I 四半期 >

北見商工会議所

## I. 調査要領

### 1. 調査時点及び調査対象期間

(1) 調査時点 令和3年8月10日

(2) 調査対象期間 令和3年4月～6月期実績および令和3年7月～9月期見通しについて調査した。

### 2. 調査対象

北見市に所在する企業を対象に、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種150社を往復ハガキにより調査した。

### 3. 回収状況

業種	企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
製造業		30社	21社	70.0%
建設業		30社	24社	80.0%
卸売業		30社	24社	80.0%
小売業		35社	23社	65.7%
サービス業		25社	16社	64.0%
合計		150社	108社	72.0%

注) 本調査結果の中で、D・I値とある記号は、デフュージョン・インデックス(景気動向指数)で好転企業割合から悪化企業割合を差し引いた値を示す

## II . 概 況

### 《 全 体 の 動 き 》

令和3年度第I四半期<令和3年4月～6月>の北見市における業況は、前年同期比で「好転企業」22.2%、「悪化企業」39.8%、「好転」から「悪化」を差し引いたD・I値は△17.6となっています。

このD・I値を前年同期と比較してみると、前年同期△54.1→今期△17.6と36.5ポイントの大幅な改善を示しました。また、前期<第IV四半期>との比較では、前期△21.7→今回△17.6と4.1ポイントの改善傾向となりました。

今回の業況を業種別で見ると、製造業D・I値△38.1、建設業D・I値△12.5、卸売業D・I値0.0、小売業D・I値△13.1、サービス業D・I値△31.2となっており、前年同期調査と比較すると、製造業で44.0ポイント、卸売業で45.4ポイント、小売業で48.4ポイント、サービス業で48.8ポイントの大幅な改善となった一方、建設業は△12.5ポイントの悪化となりました。

また、来期の見通しを全業種で見ると「好転企業」15.9%、「悪化企業」40.2%でD・I値△24.3と、今期同様悪化が継続すると回答していますが、前年同期調査と比較すると29.8ポイント改善が見られました。新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種が当市でも開始されたこと等もあり、全ての業種で来期改善を見通す結果となっています。

### 《 業 種 別 の 動 き 》

#### 1) 製 造 業

##### 生 産 高

前年比で「増加企業」19.0%、「減少企業」57.1%、D・I値△38.1と前年同期に比べ11.9ポイントの改善傾向を示しました。

##### 採 算

前年比で「好転企業」14.3%、「悪化企業」57.1%、D・I値△42.8と前年同期より32.2ポイントの大幅な改善傾向を示しました。

##### 来期見通し

業況D・I値△28.6（前年同期D・I値△67.9）、生産高D・I値△47.6（同△64.3）、資金繰りD・I値△33.4（同△53.6）と前年同期に比べ全てのD・I値で、改善の兆しがうかがえる来期見通しとなっています。

## 2) 建設業

**完成工事高** 前年比で「増加企業」16.7%、「減少企業」54.2%、D・I値△37.5と、前年同期に比べ41.6ポイントの大幅な悪化傾向を示しました。

**採算** 前年比で「好転企業」16.7%、「悪化企業」50.0% D・I値△33.3と前年同期に比べ12.4ポイントの悪化傾向を示しました。

**来期見通し** 業況D・I値△20.8（前年同期D・I値△41.7）、完成工事高D・I値△33.3（同△50.0）、資金繰りD・I値△16.6（同△16.7）と前年同期に比べ全てのD・I値で、改善の兆しが見える来期見通しとなっています。

## 3) 卸売業

**売上高** 前年比で「増加企業」37.5%「減少企業」29.2%、D・I値8.3とプラスに転じ、前年同期に比べ58.3ポイントの大幅な改善傾向を示しました。

**採算** 前年比で「好転企業」33.3%、「悪化企業」33.3%、D・I値0と前年同期に比べ45.5ポイントの大幅な改善傾向を示しました。

**来期見通し** 業況D・I値△20.8（前年同期D・I値△59.1）、売上高D・I値△16.6（同△59.1）、資金繰りD・I値△4.2（同△36.4）と前年同期に比べ全てのD・I値で、改善の兆しが見える来期見通しとなっています。

## 4) 小売業

**売上高** 前年比で「増加企業」17.4%「減少企業」34.8%、D・I値△17.4と前年同期と比べて48.0ポイントの大幅な改善傾向を示しました。

**採算** 前年比で「好転企業」17.4%「悪化企業」39.1%、D・I値△21.7と前年同期と比べて28.3ポイントの大幅な改善傾向を示しました。

**来期見通し** 業況D・I値△17.4（前年同期D・I値△50.0）、売上高D・I値△21.8（同△60.0）、資金繰りD・I値△22.7（同△50.0）と前年同期に比べ全てのD・I値で、改善の兆しが見える来期見通しとなっています。

## 5) サービス業

### 売上高

前年比で「増加企業」6.3%、「減少企業」68.8%、D・I値△62.5と前年同期と比べ7.5ポイントの改善傾向を示しました。

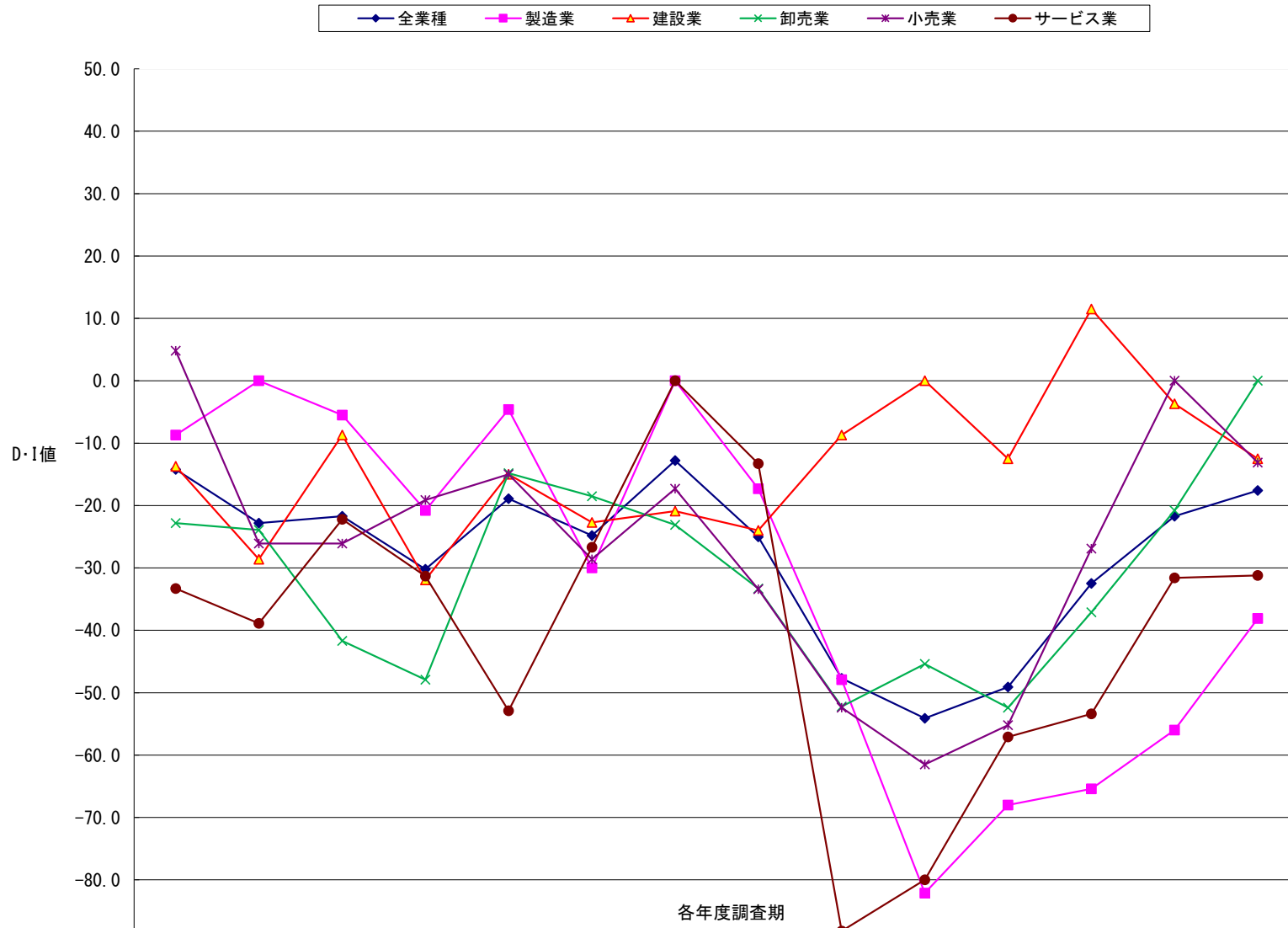
### 採算

前年比で「好転企業」18.8%、「悪化企業」62.5%、D・I値△43.7と前年同期から21.3ポイントの大幅な改善傾向を示しました。

### 来期見通し

業況D・I値△40.0（前年同期D・I値△50.0）、売上高D・I値△55.0（同△60.0）、資金繰りD・I値△46.6（同△40.0）と前年同期に比べD・I値で業況、売上高は改善、資金繰りのみ悪化傾向を示す結果となりました。

## 各年度調査期における業況（前年同期比）のD・I値の比較



	30. 1~3 平成29年度 IV	30. 4~6 平成30年度 I	30. 7~9 平成30年度 II	30. 10~12 平成30年度 III	31. 1~3 平成30年度 IV	31. 4~1. 6 令和元年度 I	1. 7~1. 9 令和元年度 II	1. 10~1. 12 令和元年度 III	2. 1~2. 3 令和元年度 IV	2. 4~2. 6 令和2年度 I	2. 7~2. 9 令和2年度 II	2. 10~2. 12 令和2年度 III	3. 1~3. 3 令和2年度 IV	3. 4~3. 6 令和3年度 I
◆ 全業種	-14.2	-22.8	-21.7	-30.2	-18.9	-24.8	-12.8	-25.0	-47.7	-54.1	-49.1	-32.5	-21.7	-17.6
■ 製造業	-8.7	0.0	-5.5	-20.8	-4.6	-30.0	0.0	-17.3	-47.9	-82.1	-68.0	-65.4	-56.0	-38.1
▲ 建設業	-13.7	-28.6	-8.7	-31.9	-15.0	-22.7	-20.9	-24.0	-8.7	0.0	-12.5	11.5	-3.7	-12.5
✕ 卸売業	-22.8	-23.9	-41.7	-47.9	-14.8	-18.5	-23.1	-33.3	-52.2	-45.4	-52.4	-37.1	-20.8	0
✱ 小売業	4.8	-26.1	-26.1	-19.1	-15.0	-28.6	-17.3	-33.4	-52.4	-61.5	-55.2	-26.9	0	-13.1
● サービス業	-33.3	-38.9	-22.2	-31.3	-52.9	-26.7	0.0	-13.3	-88.2	-80.0	-57.1	-53.4	-31.6	-31.2

## 業 種 別 経 営 上 の 問 題 点

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
製 造 業	諸 経 費 増	人 件 費 増	人 材 不 足	得 意 先 減 少	同業者間の競合
建 設 業	人 材 不 足	諸 経 費 増	人 件 費 増	得 意 先 減 少	同業者間の競合
卸 売 業	人 材 不 足	得 意 先 減 少	諸 経 費 増	同業者間の競合	人 件 費 増
小 売 業	得 意 先 減 少	諸 経 費 増	人 材 不 足	同業者間の競合	人 件 費 増
サービ業	諸 経 費 増	得 意 先 減 少	人 件 費 増	人 材 不 足	同業者間の競合
合 計	人 材 不 足	諸 経 費 増	得 意 先 減 少	人 件 費 増	同業者間の競合

※ 問題点は、各業種とも3つ選択。

○全業種でみると、前回調査で3位だった「人材不足」が1位となり、前回1位だった「得意先減少」が3位となった。その他の順位に変動は無かった。

また、業種別でみると建設業、卸売業では「人材不足」が1位となっており、製造業、サービス業においては「諸経費増」がトップとなっている。人材不足や原材料の高騰によるコストアップなど、それぞれの業界が抱える問題は一層深刻になっていることに加え、新型コロナウイルス感染症の影響による問題が顕在化してきている。

### ※その他及び具体的な業界の問題点と新型コロナウイルスによる影響についての記載事項

(製造) ○今期売上 前年比 84%減 前々年比 40%である。

○今までにないほど資材がかなり高騰している。利益が出ない。

(建設) ○ウッドショックによる利益の圧迫。

(卸売) ○原料の高騰。海外輸入肉が値上がりしている。

○祭りやイベント等が行われな限り売上が下がる一方。

○業界内の会議・会合が中止となっており、情報不足の感がある。

(小売) ○各種行事が新型コロナウイルスにより中止となり、外出目的がなくなっているため服飾の購買力が低下しており、売上が減少している。

○コロナ禍の長期化で問題は山積み、何をどうすれば何から手をつけたら良いか分からない。

(サービス) ○コロナの影響により本当に稼働率が上がらない。収益が上がりません。

○観光客数の減少により売上減少となっている。

○街づくりに関わる団体等は、会員以外にも手を差し伸べてほしい。

## 業況

- 製造業 ⇒ 好転（一般製材）  
悪化（建具、菓子、農産物加工、飴、印刷、金属製品、ビール製造、家具、石材加工、石灰製品）
- 建設業 ⇒ 好転（電気工事）  
悪化（舗装、塗装、管土木、給排水、とび土工）
- 卸売業 ⇒ 好転（一般製材、菓子製材、業務用食品卸、家電、塗装、鋼材、医療介護機器）  
悪化（石油製品、建築資材、米穀、青果物委託販売、陶磁器、家具）
- 小売業 ⇒ 好転（自動車、眼鏡、ゴルフ用品、菓子）  
悪化（紳士婦人服、酒、青果、機械工具、火薬、画材）
- サービス業 ⇒ 好転（ビルメンテナンス、建物清掃、IT）  
悪化（ホテル、飲食、クリーニング、理容）

（※太字アンダーライン表示は重複該当業種）